

提 供 日 2026/09/24
タイトル 【参加者募集】「Digital Nomad Symposium in Shizuoka (デジタルノマドシンポジウム in 静岡)」の開催が決定
担 当 総務部 地域振興課
連 絡 先 地域政策班
TEL 054-221-2204



1 要 旨

伊豆半島地域において、国際的なリモートワーカーであるデジタルノマドの誘致・受入推進に向けた機運を醸成することを目的に、デジタルノマドの特徴、地域での受入方法について広く周知し、理解促進を図るためのイベント「Digital Nomad Symposium in Shizuoka (デジタルノマドシンポジウム in 静岡)」を、令和8年11月6日(金)にホテル伊豆急で開催します。

観光事業者、交通事業者、金融機関、行政機関、地域事業者の皆様の御参加をお待ちしております。

※デジタルノマドとは

デジタルツールを利用し世界中を旅をしながら仕事をするライフスタイルの実践者で全世界に3,500万人以上いると推計されており、令和4年時点でその市場規模は世界で7,870億ドル(約120兆円)と推計されている。

長期滞在による地域消費の拡大、ビジネス面における経済効果が期待できることから、世界各国が誘客に向けた専用ビザを発給しており、我が国においてもデジタルノマド誘客に向けた在留資格制度が令和6年4月に創設された。

出典：デジタルノマド誘客 ナレッジ集(令和7年度 観光庁)

2 「Digital Nomad Symposium in Shizuoka(デジタルノマドシンポジウムin静岡)」の概要(予定)

区 分	内 容
日 時	令和8年11月6日(金)午後1時から午後5時まで 第1部 パネルディスカッション 午後1時頃～午後4時頃 第2部 交流会(アンカンファレンス) 午後4時頃～午後5時頃
主 催	静岡県
会 場	ホテル伊豆急(下田市白浜2732-7)
参加人数 (想 定)	観光事業者、交通事業者、金融機関、行政関係者、地域事業者 等 100名程度
運 営	ELENT0合同会社

○パネルディスカッションには各種スペシャリスト、経営者、学識経験者等が登壇予定！

区 分	主な登壇予定者
パネルディスカッション1 「なぜ今、静岡でデジタルノマドなのか」	○モデレーター ・加藤 遼 (一般社団法人 日本デジタルノマド協会 理事) ○パネリスト ・田中 敦 (山梨大学 生命環境学部地域社会システム学科 教授) ・中野 智恵 (一般社団法人 日本デジタルノマド協会 代表理事) ・Haren Tambi (インドネシア・バリ出身) (下田市地域おこし協力隊 デジタルノマド誘致コーディネーター)
パネルディスカッション2 「タイ・チェンマイに学ぶ、地域とデジタルノマドの共創 —『ノマドフレンドリー地区』の実践から」	○モデレーター ・梅田 直樹 (合同会社local is beat 代表) ○パネリスト ・John Ho (香港出身/タイ・チェンマイ拠点) (Alt Coliving 創業者/ノマドフレンドリー地区協議会発起人) ・Arisa Nimmanahaeminda (タイ・チェンマイ出身) (ノマドフレンドリー地区協議会共同発起人・地域代表)
パネルディスカッション3 「新しい観光と関係人口のかたち」	○モデレーター ・塚田 絵玲奈 (ELENTO合同会社 代表) ○パネリスト ・鈴木 康友 (静岡県知事) ・平澤 信明 (伊豆急行株式会社 執行役員営業部長) ・大箸 武史 (株式会社静岡銀行 下田支店長) ・片山 紗織 (吟漁亭 女将)

※登壇者については予定であり、今後変更が生じる可能性があります。

3 参加申込方法

区 分	内 容
参 加 費	無料 ※要事前登録。登録方法はイベントサイトを御確認ください。
公式サイト	イベントの詳細は、随時イベントサイト等で公開予定です。 https://tadaima-japan.jp/events/tadaima-2026/symposium-2026-jp/ 